

令和7年度事業報告

I. マラッカ・シンガポール海峡における航行安全に係る国際的な資金協力事業

1. 資金拠出関係業務

当協議会は、航行援助施設基金(ANF: Aids to Navigation Fund、以下「基金」という)に対して、一般社団法人日本船主協会、石油連盟、エネルギー関連団体等からご協力頂いた資金を拠出してきている。

平成21年度から平成25年度までは各年度50万米ドルを、平成26年度は30万米ドルを、平成27年度から令和6年度は各年度10万米ドルの拠出を行ってきた。

(令和7年度)

基金に10万米ドルの拠出を行った。

2. 基金委員会関係業務

沿岸3国が実施する航行援助施設の維持管理・更新に係る費用に充てるため、基金から支出される予算と決算、業務計画と進捗管理等を審議するために、マラッカ・シンガポール海峡(以下「マ・シ海峡」という)「航行援助施設基金委員会」(以下、「基金委員会」という)が年2回開催される。

当協議会は、基金委員会に出席し、意見の具申・交換等を行うとともに、必要な情報収集を行っている。また、当協議会が基金委員会から委託されている業務監査の報告を行い改善点の勧告を行っている。

(令和7年度)

第32回基金委員会(令和7年5月6日～7日、於:シンガポール)に春成理事長及び職員が出席し、2024年の航行援助施設維持管理業務監査報告を行った

第33回基金委員会(令和7年11月5日～6日、於:シンガポール)に河野専務理事及び職員が出席し、2026年からのANF監査料増額(年間5万米ドル→9万米ドル)の承認並びに2026年及び2027年の業務監査人指名を得た。また、2025年航行援助施設維持管理業務監査中間報告を行うとともに、沿岸国の事業計画に対する意見表明等を行ったほか、2025年分として基金への10万米ドルの拠出表明を行った。

3. 基金委員会から受託した業務監査業務

当協議会は、長年にわたるマ・シ海峡における航行援助施設の維持管理の経験と能力を評価され、基金委員会から業務監査人として選定されている。

沿岸3国が基金の資金を利用して行う航行援助施設維持管理業務が、業務計画どおりに遂行されているか確認するため、職員を派遣して実際の現場での立会監査を行い、その履行状況チェック及び改善勧告等を業務監査報告書としてまとめ、年2回の基金委員会に提出している。

(令和7年度)

(1) 業務監査

2025年分及び2026年前半分(シンガポールのみ)の業務として、沿岸3国が実施した航行援助施設維持管理業務(定期見回り及び点検作業)に対し、職員等を派遣し、監査業務を実施した。

- ① 令和7年4月21日～4月30日、マレーシア、18基の航行援助施設
- ② 令和7年5月26日～6月19日、インドネシア、28基の航行援助施設
- ③ 令和7年6月23日～6月25日、シンガポール、3基の航行援助施設
- ④ 令和7年10月6日～15日、マレーシア、18基の航行援助施設
- ⑤ 令和7年11月10日～12月4日、インドネシア、28基の航行援助施設
- ⑥ 令和8年1月28日～1月30日、シンガポール、3基の航行援助施設

(2) 監査報告、改善勧告

第32回基金委員会において2024年航行援助施設維持管理業務監査報告を、第33回基金委員会において2025年航行援助施設維持管理業務監査中間報告を行った。

Ⅱ. マラッカ・シンガポール海峡の航行安全及び海洋環境保全に係る国際的な技術協力事業

1. 沿岸国の行う航行援助施設維持管理業務への技術協力業務

沿岸国海事当局がそれぞれ実施する航行援助施設維持管理業務に対し、当協議会は、上記Ⅰ.3のとおり業務監査を行っているが、同時に沿岸国の要請を受けて航行援助施設点検時に現場での作業要領や機器の修理指導等の技術協力を行っている。

技術協力に関しては、インドネシア政府およびマレーシア政府からの強い要望により、業務監査を担う職員等に加え、民間会社の技術専門職員を委嘱して同行させ、技術移転に努めている。

(令和7年度)

上記 I. 3(1)の業務監査と並行して現場で指導、技術協力を行った。マレーシア及びインドネシアについては、職員等に加え、民間会社の技術専門家を委嘱して同行の上、技術協力を行った。

また、沿岸3国の自立的な管理能力向上のため、日本財団助成を活用した技術協力の準備、調整等を行った。

2. マラッカ・シンガポール海峡の航行安全・海洋環境保全に係る国際会議関係業務

(1) 協力メカニズムの多国間国際会議

マ・シ海峡の航行安全・海洋環境保全に関する多国間の国際協力の場として、協力フォーラム(CF)、プロジェクト調整委員会(PCC)、沿岸3国技術専門家会合(TTEG)が存在し、毎年、沿岸3国が交替で主催している。

(令和7年度)

協力メカニズムに関わる以下の国際会議(於:マレーシア・ペナン)に河野専務理事及び職員が出席し、各種報告、関係国との意見・情報交換等を行った。

①第16回協力フォーラム(CF)(令和7年9月29日～30日)

当協議会のマ・シ海峡への貢献についてプレゼンテーションを行ったほか、各種情報を収集した。

②第48回沿岸3国技術専門家会合(TTEG)、令和7年10月1日～2日)

オブザーバーとして参加し、各種情報を収集した。

③第16回プロジェクト調整委員会(PCC)(令和7年9月30日)

オブザーバーとして参加し、各種情報を収集した。

(2) 油濁防除回転基金委員会

昭和56年に当協議会と沿岸3国の間で取り交わされた了解覚書に基づき、マ・シ海峡における船舶事故による油流出時の回収等初期費用支弁援助のために設けられた基金の管理を行う油濁防除回転基金委員会(RFC: Revolving Fund Committee)が設置されている。毎年開催される RFC

には、メンバーである沿岸3国以外では当協議会に対してのみオブザーバーとしての参加要請が行われている。

(令和7年度)

第44回 RFC(令和7年7月9日～10日、於:シンガポール)が開催されたが、日程上の問題等で不参加であった。

Ⅲ. マラッカ・シンガポール海峡における航行安全に係る調査研究事業

1. マラッカ・シンガポール海峡における航行援助施設の代替のための現地事前調査事業

国土交通省は、マ・シ海峡に設置されている、近い将来更新を要する航行援助施設代替のための「航行援助施設更新事前調査」等を平成20年度から行っている。当協議会は、同調査に対する協力業務を実施してきている。

(令和7年度)

「航行援助施設の再評価及び仮想化調査」において、通峡経験を有する船長等を対象とした情報収集調査及び令和8年2月1日～13日に実施された現地調査に職員が参画・同行し、調査実施への協力を行った。

2. マラッカ・シンガポール海峡に係る人材育成事業

国土交通省は、マ・シ海峡に設置されている航行援助施設の運用に関し、沿岸国の維持管理能力の向上、最新の技術情報の理解、沿岸国相互理解と協力への貢献を図ることを目的として、平成24年以降、ポートクラン(マレーシア)で沿岸3国の実務レベル職員を対象とした「人材育成研修事業」等を行っている。当協議会は、同事業に対する協力業務を実施してきている。

(令和7年度)

令和8年2月3日～9日にポートクランで行われた「航行援助施設維持管理に関するキャパシティー・ビルディング・アドバンス事業」において、講師として職員を派遣し、現地での講義、意見交換会への出席等の協力を行った。

IV. 理事会・評議員会の開催

1. 理事会

令和7年度は、次のとおり4回の理事会が開催された。

(1) 令和7年度第1回理事会 令和7年6月4日

開催場所 海運ビル304会議室

決議事項 令和6年度事業報告及び決算報告

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況、第32回航行援助施設基金委員会の結果概要、その他

(2) 令和7年度第2回理事会 令和7年7月1日(書面表決)

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 代表理事(理事長)及び業務執行理事(専務理事)の選定、専務理事の報酬月額承認

(3) 令和7年度第3回理事会 令和8年1月23日(書面表決)

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 令和7年度第2回評議員会招集の件

(4) 令和7年度第4回理事会 令和8年3月12日

開催場所 都道府県会館 407会議室

決議事項 令和8年度事業計画及び収支予算、規程の改正、常勤役員の特別手当の承認、令和8年度第1回評議員会の招集

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況、協力メカニズム関連会議等の結果概要、第33回航行援助施設基金委員会の結果概要、その他

2. 評議員会

令和7年度は、次のとおり2回の評議員会が開催された。

(1) 令和7年度第1回評議員会 令和7年6月20日

開催場所 海運ビル 304会議室

決議事項 令和6年度事業報告及び決算報告、役員の選任

報告事項 第32回航行援助施設基金委員会の結果概要、その他

(2)令和7年度第2回評議員会 令和8年3月12日

開催場所 都道府県会館 407会議室

決議事項 令和8年度事業計画及び収支予算、規程の改正、評議員及び役員
の選任

報告事項 協力メカニズム関連会議等の結果概要、第33回航行援助施設
基金委員会の結果概要、その他

なお、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項及び当協議会定款第11条第1項第2号に規定する「事業報告の附属明細書」については、「事業報告書の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、作成していない。

以上